教科	数学	科目	数学ⅡB	単位数	5

学年	3	科	普通科	専攻・コース	大学進学専攻

教科書	新編　数学Ⅱ（数研出版） 新編　数学B（数研出版）	副教材	基本と演習テーマⅡ＋B（数研出版）

学習到達目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分及びベクトル，数列の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
評価の観点	１関心・意欲・態度、２知識・理解、３数学的な見方や考え方、４数学的な技能を定期試験、授業態度、課題提出、ノート提出などにより総合的に評価する。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
前期	前期第1回定期試験	空間ベクトル	・空間における図形を，図や座標を利用して表すことができる。 ・座標空間において，点の座標や原点との距離が求められる。 ・空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。 ・空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。 ・座標空間の点と空間のベクトルの成分の関係について理解している。 ・ベクトルの内積を，平面から空間へ拡張して考察できる。 ・成分表示されたベクトルについて，内積を計算できる。 ・ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることができる。 ・線分の長さ，垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。	
	前期第2回定期試験	数列 数列と一般項 等差数列と等比数列	・数列の定義，表記について理解している。 ・数の並び方からその規則性を推定して，数列の一般項を考察できる。 ・等差数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の公差，一般項などを理解している。 ・初項と公差を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 ・自然数の和，奇数の和，偶数の和などが求められる。 ・等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の公比，一般項などを理解している。 ・等比数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。	
	前期末試験	いろいろな数列 数学的帰納法	・記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。 ・数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。 ・初項から第n項までの和に着目して，一般項を考察できる。 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。 ・数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。 ・自然数nに関する命題の証明には，数学的帰納法が有効なことを理解している。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後期	後期第1回定期試験	センター試験数学ＩＡⅡＢ対策	数学ＩＡの学習内容で センター試験対策の問題演習を行う	
	学年末試験	センター試験数学ＩＡⅡＢ対策	数学ⅡＢの学習内容で センター試験対策の問題演習を行う	